



圧力計測の温度影響を高精度に除去

2018年度日本ガス協会技術大賞

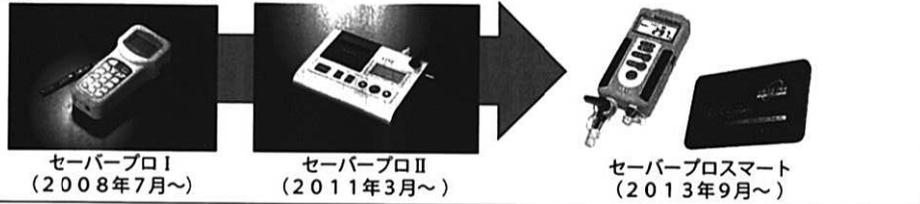
日本ガス協会は14日、東京都千代田区の本郷二丁目二番三番路に於いて、2018年度技術大賞・技術大賞・技術奨励賞の表彰式を行った。技術奨励賞を表彰した。技術大賞・技術奨励賞の概要を紹介する。

温度補正機能付、気密試験装置 セーバープロの開発

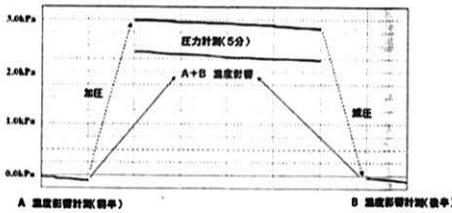
開発概要
温度補正機能付、気密試験装置セーバープロは、配管に圧力をかけた時とかけない時の圧力変化を計測するという

結果の誤差等により、さらなる精度向上を現した。
開発の動機・目的
内管工事など、気密

①セーバープロの進化



②温度補正機能の説明



東京ガスエンジニアリングソリューションズ、東洋計器、エイムテック

開発の背景
①温度補正機能の改良(セーバープロIIスマート)独自の特性により、周囲の温度変化の影響を高精度で取り除くアルゴリズムを開発した。
②現場で二大悩みの一つだった仕様変更(セーバープロII)現場での作業効率向上、メンテナンス性の向上、コストダウンを図るためのコストダウンを図る。低価格で現場でのニーズに応えるための開発を行った。
③タブレット端末を使用した次世代圧力計測器の完成(セーバープロスマート)現場での作業効率向上、メンテナンス性の向上、コストダウンを図るための開発を行った。
④現場での作業効率向上、メンテナンス性の向上、コストダウンを図るための開発を行った。
⑤現場での作業効率向上、メンテナンス性の向上、コストダウンを図るための開発を行った。

開発の背景
①温度補正機能の改良(セーバープロIIスマート)独自の特性により、周囲の温度変化の影響を高精度で取り除くアルゴリズムを開発した。
②現場で二大悩みの一つだった仕様変更(セーバープロII)現場での作業効率向上、メンテナンス性の向上、コストダウンを図るための開発を行った。
③タブレット端末を使用した次世代圧力計測器の完成(セーバープロスマート)現場での作業効率向上、メンテナンス性の向上、コストダウンを図るための開発を行った。
④現場での作業効率向上、メンテナンス性の向上、コストダウンを図るための開発を行った。
⑤現場での作業効率向上、メンテナンス性の向上、コストダウンを図るための開発を行った。



温度補正機能「セーバープロ」 「エネファームt y p e S」

ガス協会技術大賞に

日本ガス協会は14日、東京・紀尾井町のホテルニューオータニで2018年度技術大賞などの表彰式Ⅱ写真Ⅱを行った。

今年度技術大賞は温度補正機能付き気密試験装置「セーバープロ」の開発に携わったエイムテック、東洋計器、東京ガスエンジニアリングソリューションズの3社と、「エネファームt y p e S」(16年度機)を開発

したアイシン精機、ノーリツの2社の計5社に贈られた。

そのほかの受賞者は次の通り(敬称略)。

〔技術賞〕①可変式丸穴タイプガスコンセントの開発Ⅱ藤井合金製作所②1千キロワット高効率ガスエンジンコージェネシステムGS16R2の開発Ⅱ三菱重工エンジン&ターボチャージャー③ガスメーター固定金具の開発Ⅱ京葉

ガス、京葉プラントエンジニアリング④節電と省エネ性を高めたガス吸収冷温水機「節電型ナチュラルチラー」の開発Ⅱ日立ジョンソンコントロールズ、川重冷熱工業、パナソニック⑤自動調理機能付きガスオーブンの開発Ⅱハーマン、三洋テク

ノソリューションズ⑥業務用3キロワットS O F C コージェネシステムの開発Ⅱ京セラ、ノーリツ⑦立ち消え安全装置付き業務用ガスこんろの開発Ⅱオザキ、コメットカトウ、タニコー、フジマック、マルゼン、リンナイ、山岡金属工業、ミック⑧検査口付きガスメーター継ぎ

手の開発Ⅱ京葉ガス、藤井合金製作所⑨450キロワット高効率ガスコージェネシステムSGPM450の開発Ⅱ三菱重工エンジン&ターボチャージャー

〔技術奨励賞〕①東京ガス基礎技術部スマートシステム研究開発センター川田拓也②東邦ガス供給管理部供給技術グループ北野哲司